

## 第2回定例会 9月議会

### 家庭用生ごみ処理機の購入助成等

### ゼロ・ウェイストあかしの5つの取り組み

### ごみの減量・再資源化の推進へ

令和6年第2回定例会9月議会が9月9日から10月16日まで開かれました。

高齢者のインフルエンザ予防接種を無料化する経費等を含む令和6年度明石市一般会計補正予算(第3号)や、教育長任命の人事案件など、議案11件を可決・同意、報告11件を了承、請願3件を採択しました。また、令和5年度決算14件を認定しました。



誰もが楽しめるインクルーシブビーチへ(ビーチマットと水陸両用車いす)

生活文化常任委員会で、ごみの減量・再資源化を推進する5つの取り組みであるゼロ・ウェイストあかしについて報告がありました。

取り組みの1つ目は、情報発信の強化として、ホームページのリニューアルやごみ減量通信ゼロ・ウェイストあかしの発刊などを行っています。2つ目は、紙ごみ再資源化プロジェクトとして、再生可能な紙ごみの分別を

目的にTaco箱(たこばこ)の設置や事業系機密文書の無料回収に取り組んでいます。3つ目は、生ごみダイエット作戦として、家庭用生ごみ処理機の購入助成や学校給食の食べ残しを堆肥化するパイロット事業を行っています。4つ目は、企業と連携し、使用済みペットボトルを新たなペット



ごみ減量に向けたワークショップ

ボトルに再生する水平リサイクルや歯ブラシのリサイクルを行う予定です。5つ目は、ワークショップや市民アンケート等を実施しています。

委員からは、家庭用生ごみ処理機の購入助成の申し込み状況や今後導入を検討している単純指定ごみ袋制度について質問がありました。

市からは、購入助成の申し込みは8月末時点で電動式の生ごみ処理機が123件、コンポスト等の生ごみ処理容器が13件あった。単純指定ごみ袋制度については、導入により不適切なごみ捨てが抑制され、ごみの減量の促進につながるとの答弁がありました。

### 医療的ケア児等相談窓口設置

### 保健・医療・福祉・教育等の連携で切れ目ない支援体制を構築

文教厚生常任委員会は、明石市医療的ケア児等相談窓口の設置について報告がありました。

令和3年9月に医療的ケア児支援法が施行され、医療的ケア児と家族の日常生活の支援や相談体制の整備等が地方公共団体の責務となりました。本市も退院後の相談先が分らない等の課題に対応

するため、今年10月に相談窓口を設置し、保健、医療、福祉、教育等が相互に連携することにより切れ目ない支援体制を構築していきます。

委員からは、相談の予約方法は原則オンライン受付となっているが、電話ですぐに相談できないのか。また、医療的ケアの対象範囲を含めた周知方法などについて質問がありました。

市からは、まず相談者が市ホームページから申し込みを行い、市が日時等を調整後、相談者の希望により、来所、訪問、電話、オンラインで実施する流れであるが、すぐに相談したい場合は障害福祉課において電話で対応した後、内容によって

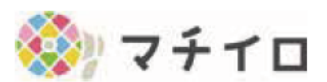


予約方法は原則オンライン受付

- も 2 市政を問う 24人が登壇 質疑・一般質問
- く 3 請願・意見書
- じ 3 議員よもやま話

- 5 今年度の重点的な取り組みは 委員長に聞く
- 6 昨年度の予算執行をチェック 令和5年度決算を認定
- 7 市議会としての意見や要望 決算の認定にあたり出された意見

- 8 各議員の議案等に対する賛否を掲載 議案の賛否一覧
- 8 夏休み親子で議会体験ツアーを開催



市議会だよりを  
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロード  
が必要です。

